

# 2010 年ご挨拶

渡辺 修

さっぽろ自然調査館発足の 1997 年から 13 回目の新年を迎えることとなりました。最初の新年の通信で「トラの顔」迷路を自作したことを思い出し、あれから干支がちょうど一周したことを実感しました。

あっという間で、やりたくてもなかなか実現できないことも積み残しながら進んできましたが、おかげさまで新しいことにもたくさん取り組んで、この通信も毎年出し続けることができました。

多くの人の助けでここまでできましたが、今後もお世話になりながら、挑戦を続けたいと思います。よろしく願いいたします。

## スケッチ観察シリーズ

### ネコノメソウの仲間

渡辺 修

スケッチ関係で紹介したいものがいろいろとたまっていますが、今回は小さくまとまっているグループのネタで、ネコノメソウの仲間を紹介します。種類はそんなに多くないものの、どれがどれだったか、似ているので忘れやすいかなということで整理してみました。

#### ネコノメソウの種類

ネコノメソウ属はユキノシタ科の多年草のグループです。背が低い軟弱な植物で、湿った場所にまとまって生え、春先に花が咲くという特徴があります。花は小さくて花弁がありませんが、黄色くなる萼片とその周りの苞葉が花を目立たせます。猫目草の名は、その萼片がタネの周りを囲んで猫の目のように見えるからと言われます。

全国に 14 種あるそうで、そのうち 6 種が北海道に生育しています (表 1)。このうち 4 種は全道に分布しますが、エゾネコノメは道東、ヤマネコノメは西南部のみに分布します。道新フラワーソンの 2007 年の

報告書で五十嵐さんが間違いやすい例として紹介していたので、分布図を載せましたが (今回全種の分布を 4 ページに掲載しました)、この 2 種に関しては見られる場所がはっきりしています。フラワーソンは 6 月なので、花を見る時期としてはやや遅いですが、それでも 6 種とも報告されており、特にネコノメソウとツルネコノメが多いことが分かります (表 2)。

#### ネコノメソウを描く

ネコノメソウ類は大きさが小さい上に、周りの地面が湿っているので、野外でのスケッチがなかなかしにくい植物です (自分

表 1. 北海道のネコノメソウ属 *Chrysosplenium* の一覧

No.	種名	別和名	学名	ECP 植物番号	環境庁 コード	平凡社 14 (p161)	新花 p61	滝田 p384	二次メ ツシ数 29	デー タ数 59	分布
1372	エゾネコノメソウ	オクヤマネコノメ カラフトネコノメソウ	<i>C.alternifolium</i> var. <i>sibiricum</i>	693900	23430	14 (p161)	p61	p384	29	59	北(東)
1373	ツルネコノメソウ	コバナネコノメソウ ヒメネコノメ	<i>C.flagelliferum</i>	694000	23470	11 (p160)	p61	p385	183	328	北・本(近畿以北)・四国
	ハコダテネコノメ		<i>C.flagelliferum</i> var. <i>hokodatensis</i>	694100	※拓銀目録に渡島産として整理・記載されている変種						
	オシマネコノメ		<i>C.flagelliferum</i> var. <i>osimaensis</i>	694200	※拓銀目録に渡島産として整理・記載されている変種						
1374	ネコノメソウ	ミズネコノメ	<i>C.grayanum</i>	694300	23480	2 (p158)	p60	p384	147	249	北・本
1375	ヤマネコノメソウ		<i>C.japonicum</i>	694400	23490	12 (p160)	p61	p385	20	23	北(南)・本・四・九
	ヨツシペヤマネコノメ		<i>C.japonicum</i> form. <i>tetrandrum</i>	694460	※平凡社図鑑に記載されている品種						
1376	チシマネコノメソウ	ミチノクネコノメソウ	<i>C.kamtschaticum</i>	694500	23510	4 (p158)	p61	p384	149	253	北・本(近畿以北)
	オオチシマネコノメ		<i>C.kamtschaticum</i> var. <i>robustum</i>	694600	※拓銀目録に新称として整理・記載されている変種。阿寒山系						
1377	マルバナネコノメソウ	クモノスネコノメ クロバナネコノメ	<i>C.ramosum</i>	694700	23610	7 (p159)	p60	p386	100	152	北・本(近畿以北)
	オオマルバナネコノメ		<i>C.ramosum</i> form. <i>macrophyllum</i>	694750	※拓銀目録に整理・記載されている品種。杉本草本検索誌から。						
	コマルバナネコノメ	ヒメネコノメ	<i>C.ramosum</i> form. <i>microphyllum</i>	694760	※拓銀目録に整理・記載されている品種。杉本草本検索誌から。						
	タチネコノメソウ	トサネコノメ	<i>C.tosaense</i>	694800	※拓銀目録に整理・記載されている。分布は疑問。本・四・九						

※平凡社は平凡社日本の植物、新花は梅沢さんの新北海道の花、滝田は滝田さんの北海道植物図譜のページ数。二次メツシ数は ECPLANT による確認地区数。

表 2. フラワーソン 2007 の結果

順位	種名	地区数 1997/646	地区数 2002/521	地区数 2007/551	開花	つぼみ	咲終り	変化 97-02	変化 02-07
203	ネコノメソウ	29	57	65	30	3	32	6%	1%
236	ツルネコノメソウ	38	45	52	23	1	28	3%	1%
443	チシマネコノメソウ	21	17	19	6		13	0%	0%
447	マルバナネコノメ	13	13	12	6		6	0%	▲0%
476	エゾネコノメソウ	60	20	12	5		7	▲5%	▲2%
775	ヤマネコノメソウ	1	3	5	1		4	0%	0%

も引っこ抜いて描いていたことが多いような)。しかし、葉の形にはそれぞれの種で特徴があり、スケッチは面白いです。また、花とがくと苞が平たく折り重なった花も、デザイン的にはなかなか面白いです。

### ◆ネコノメソウの見分け方

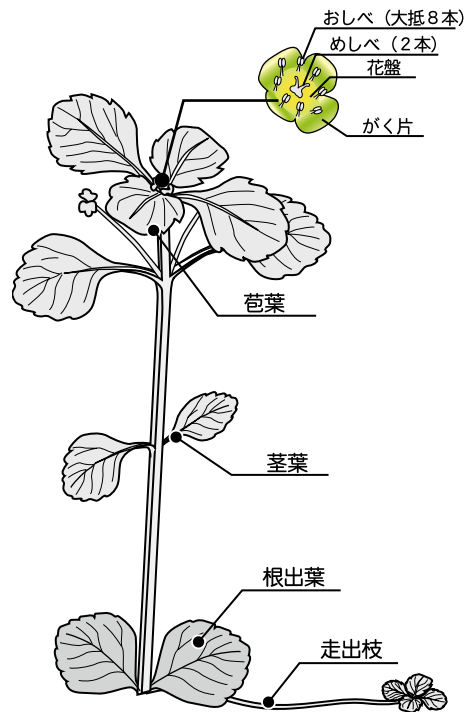
見分け方・観察のポイントを以下に整理します(表-3 参照)。

#### ○生育環境

基本的には湿った場所ということになりますが、種によって見られる環境がやや異なってきます。チシマやヤマは水辺からは離れたところに見られます。

#### ○葉

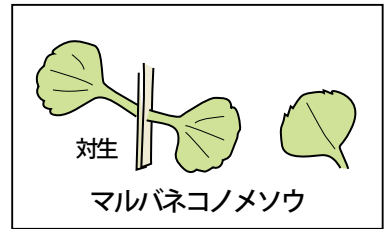
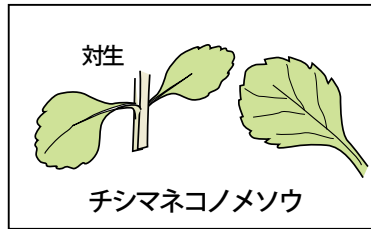
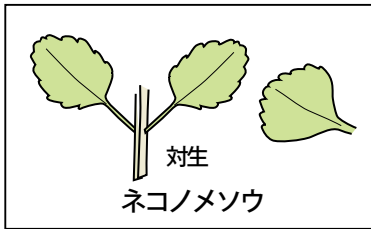
葉には花の周りの苞葉、花茎につく莖葉、



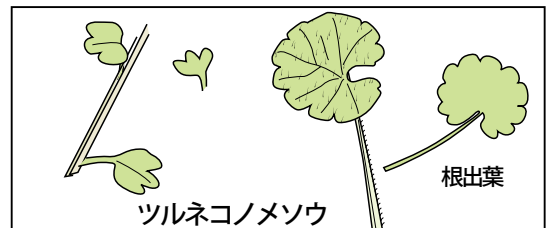
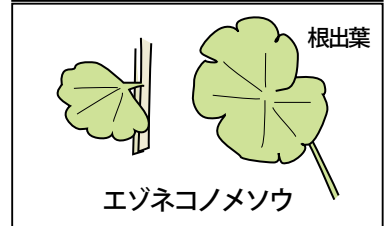
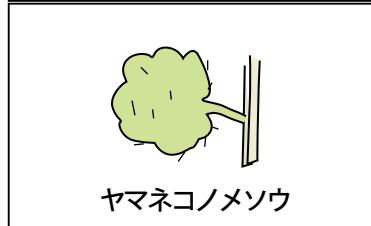
ネコノメソウの部位名

表 3. ネコノメソウ属の同定ポイント

種名	分布	環境	株	茎	茎葉	根出葉	走出枝	花期	花・苞の色	おしべ
ネコノメソウ	全道	泥のたまった水湿地	群生する		対生	なし	花後伸びる	5-6月	黄緑	4
チシマネコノメソウ	全道	林内の水がしみだす斜面など		無毛	対生/なし	あり	花後伸びる	5-6月	黄緑	8
マルバネコノメ	多雪地帯	溪流沿い		軟毛	対生	花前	花後伸びる	5-6月	緑	8
ツルネコノメソウ	全道	溪流沿い、湧水周辺	群生する	無毛		花前毛あり	花後伸びる	5-6月	黄 + 黄緑	8
ヤマネコノメソウ	道南	林内の沢沿いの堆積地		軟毛	互生		なし	4-5月	黄緑 + 緑	8(4)
エゾネコノメソウ	道東	湿原のマウンドや川沿い		無毛		あり	地中に伸びる	5-6月	黄色	8



チシマネコノメソウの花



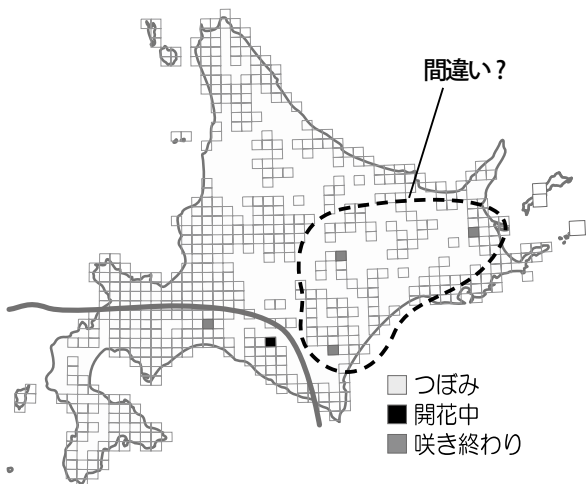
根元から生える根出葉、走出枝（ランナー）につく葉などがあり、それぞれ若干形が異なったりしています。根出葉はないものや花時には枯れてしまうものもあります。茎葉やランナーの葉は対生の種と互生の種があり、大きな見分け方のポイントとなっています。葉の形も違いがあり、見分けポイントとなります。

ランナーですが、多年草といってもこれで移動しながら殖えていく形が基本のようです。ただヤマネコノメだけはランナーがなく、根元にむかごのようなものをつけて、翌年はそこから芽が出る形になっています。

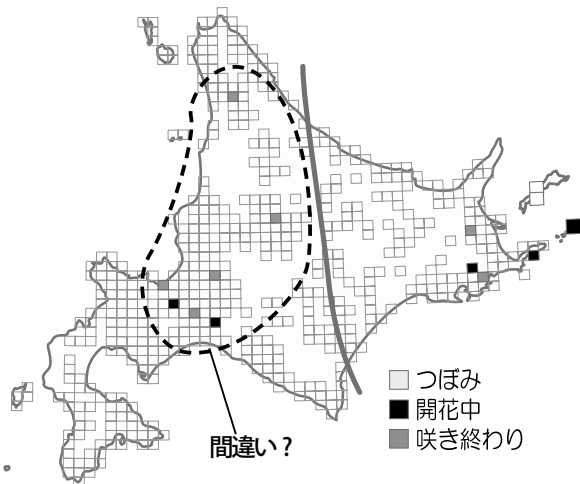
### ○花

おしべの本数が同定ポイントになっています。実際には道内ではネコノメソウだけが4本で、他は全て8本です。花と苞の色は種によって黄色の濃さが異なり、特にエゾネコノメが目立つ黄色となっています。花の時期は似通っていますが、ヤマネコノメがやや早いようです（南部にしかないせいもあるでしょう）。

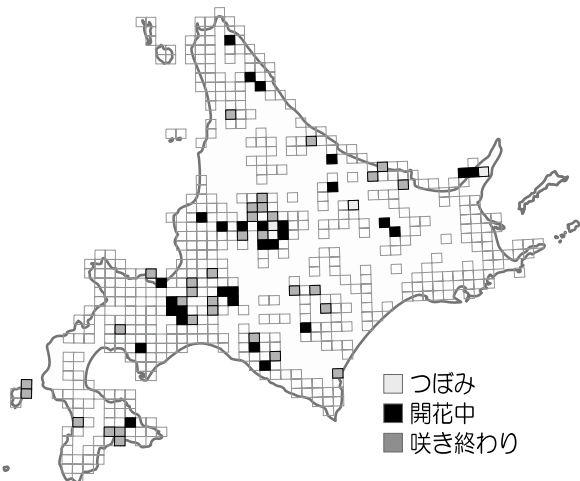
ヤマネコノメ



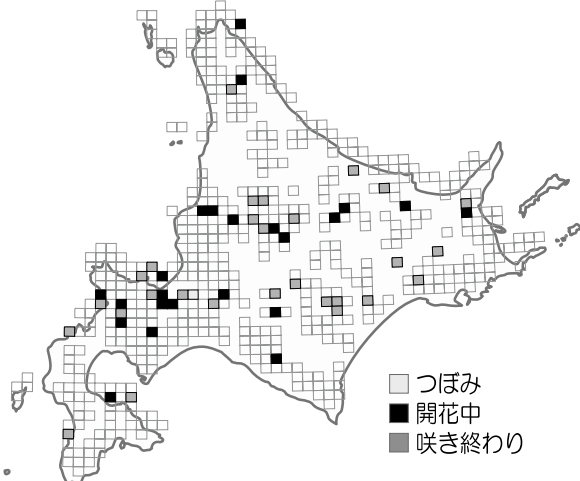
エゾネコノメ



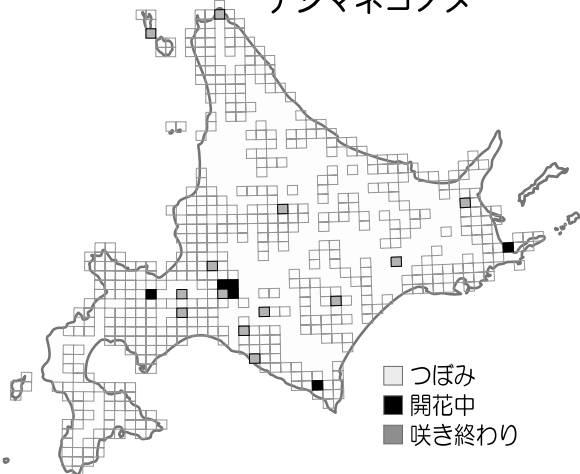
ネコノメ



ツルネコノメ



チシマネコノメ



マルバナネコノメ

